

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1学期	4	筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう	【知技】 読みやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
			【知技】 文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解している。
			【知技】 思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を磨いて、語や語句を使っている。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
			【思判】 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。
			【主体】 読んで語感や言葉の使い方に対する感覚を磨き、学習の見通しをもって『枕草子』のような文章を書こうとしている。
			【主体】 積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、書ものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。
			【主体】 積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから随筆を始める、随筆を書こうとしている。
			【知技】 情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解している。
			【知技】 文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解している。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。
			【思判】 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。
			【主体】 積極的に書きエネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事柄の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や書きエネルギーの利用について考えをまとめようとしている。
			【主体】 積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
			【知技】 思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。
			【知技】 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。
			【知技】 語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。
			【思判】 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。
			【思判】 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしている。
			【思判】 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【主体】 粘り強く意見の違いを大事にしなが話し合い学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
			【主体】 積極的に世代による言葉の違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
			【知技】 比喩や皮肉などの表現の工夫に気付いている。
			【知技】 文章を保護している。
			【思判】 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。
			【思判】 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。
			【思判】 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
			【主体】 読んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。
			【知技】 文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
			【知技】 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。
			【知技】 思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を磨いて、語や語句を使っている。
			【思判】 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。
			【主体】 積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを磨き、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。
			【主体】 積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを磨き、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。
			【知技】 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
			【知技】 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の全体を知ったりすることを通して、當の人のものの見方や感じ方を知っている。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。
			【思判】 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
			【思判】 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。
			【思判】 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。
			【主体】 通で筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験よりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。
			【主体】 積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。
			【主体】 積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
			【知技】 文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。
			【主体】 積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。
			【知技】 思考に関わる語句の量を増し、語句の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を磨いて、語や語句を使っている。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
			【主体】 読んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。
			【知技】 文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
			【知技】 語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
			【思判】 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
			【思判】 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。
			【主体】 積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠愍の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。
			【主体】 積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。
			【知技】 話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。
			【思判】 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。
			【思判】 「書くこと」において、目的や意図に応じて随筆に書いた詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			【思判】 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。
			【主体】 積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を待とうとしている。